



Cisco Unity Connection カンバセーションの設定の変更

- [カンバセーションの設定について, 1 ページ](#)
- [Connection カンバセーションの言語の変更, 1 ページ](#)
- [メニュースタイルの変更, 2 ページ](#)
- [Connection カンバセーションの音量の変更, 2 ページ](#)
- [Connection カンバセーションの速度の変更, 3 ページ](#)
- [メッセージのタイムスタンプに使用する時間フォーマットの変更, 3 ページ](#)
- [電話の入力方法の変更, 4 ページ](#)
- [サインインするときに Connection が再生する情報の変更, 4 ページ](#)
- [メッセージの宛先と送信先の設定の変更, 5 ページ](#)

カンバセーションの設定について

カンバセーションの設定では、再生されるメッセージや、電話でどのように Cisco Unity Connection と対話するかを制御します。この設定をメッセージ再生の設定と組み合わせて使用すれば、Connection カンバセーションのさまざまな機能をカスタマイズできます。

Connection カンバセーションの言語の変更

この設定は、Cisco Unity Connection カンバセーションで再生される言語を指定します（発信者に対して再生される Connection カンバセーションの言語は、Connection の管理者が設定します）。

手順

- ステップ1 Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。
- ステップ2 [電話メニュー] ページの [言語] リストで、Connection カンバセーションに使用する言語を選択します。
- ステップ3 ページの下までスクロールし、[保存] を選択します。

メニュースタイルの変更

電話の入力方法を電話のキーパッドにした場合、標準ガイドンスまたは簡易ガイドンスのいずれかを聞くことができます。標準ガイドンスは理解しやすいインストラクションを提供するものであり、簡易ガイドンスは標準ガイドンスの簡易版です。入力方法をボイス コマンドにした場合は、標準ガイドンスしか聞くことができません。

手順

- ステップ1 Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。
- ステップ2 [電話メニュー] ページの [タッチトーン メニュー スタイル] リストから、使用するガイドンス タイプを選択します。

オプション	説明
[標準ガイドンス]	Connection が理解しやすいインストラクションを再生します。Connection の新規ユーザの場合はこちらを使用します。
[簡易ガイドンス]	Connection が標準ガイドンスの簡易版を再生します。操作に慣れたユーザの場合は、このスタイルを使用します。

- ステップ3 ページの下までスクロールし、[保存] を選択します。

Connection カンバセーションの音量の変更

Cisco Unity Connection カンバセーションでのプロンプト、録音名、またはユーザ グリーティングの再生音量のレベルを設定できます。



(注) ここで設定した音量は、メッセージの再生の音量には反映されません。

手順

- ステップ1 Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。
- ステップ2 [電話メニュー] ページの [ガイダンス音量] リストで、Connection カンパセーションの再生に使用するレベルを選択します。
- ステップ3 ページの下までスクロールし、[保存] を選択します。

Connection カンパセーションの速度の変更

Cisco Unity Connection カンパセーションでのプロンプト、録音名、またはユーザ グリーティングの再生速度を設定できます。



(注) ここで設定した速度は、メッセージの再生速度には反映されません。

手順

- ステップ1 Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。
- ステップ2 [電話メニュー] ページの [ガイダンス速度] リストで、Connection カンパセーションの再生に使用するレベルを選択します。
- ステップ3 ページの下までスクロールし、[保存] を選択します。

メッセージのタイムスタンプに使用する時間フォーマットの変更

メッセージを電話で聞くときに再生されるメッセージのタイムスタンプの時間フォーマットを選択できます。

手順

- ステップ1 Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。
- ステップ2 [電話メニュー] ページの [時間フォーマット] リストから、使用する時間フォーマットを選択します。

オプション	説明
[12時間制]	午後 1:00 に残されたメッセージのタイムスタンプは「午後 1 時」と再生されます。
[24時間制]	午後 1:00 に残されたメッセージのタイムスタンプは「13 時」と再生されます。

ステップ 3 ページの下までスクロールし、[保存] を選択します。

電話の入力方法の変更

電話で Cisco Unity Connection にアクセスするときは、使用する入力方法を選択できます。

- 電話のキーパッドを使用して、メッセージや設定を管理する。
- 電話のキーパッドを使用するだけでなく、ボイスコマンドを使用してメッセージや設定を管理する。

手順

ステップ 1 Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。

ステップ 2 [電話メニュー] ページの [入力方法] フィールドで、適切なスタイルを選択します。

オプション	説明
[キーパッドのみ]	電話のキーパッドを使用する場合に選択します。
[音声認識]	ボイス コマンドを使用する場合に選択します。

ステップ 3 [保存] を選択します。

サインインするときに Connection が再生する情報の変更

電話でサインインするときに Cisco Unity Connection が再生する情報を制御できます。

- Connection が録音名を再生するかどうかを選択できます。
- オプショングリーティングが有効になっている場合、そのことを Connection から通知されるようにするかどうかを指定できます。

- メッセージを確認するときに、Connection で合計数を案内するメッセージのタイプを選択できます。

手順

- ステップ 1** Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。
- ステップ 2** Connection を呼び出してサインインするときに、自分の録音名を聞くには、[電話メニュー] ページの [サインイン後に再生] セクションで [録音名を再生する] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** オプショングリーティングがオンのときに Connection がユーザに通知するようにするには、[オプショングリーティング通知の再生] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [新規メッセージ再生時にアナウンス] セクションで、アナウンスするメッセージ数の種類によって、次のうちいずれかのチェックボックスをオンにします。

オプション	説明
[開封済み総メッセージ数]	Connection がすべてのメッセージ（ボイスメッセージ、電子メール、および開封確認）の合計数をアナウンスします。
[ボイスメッセージ数]	Connection がボイスメッセージ数をアナウンスします。
[電子メール メッセージ数]	Connection が電子メール メッセージ数をアナウンスします (電子メール数は [電話メニュー] ページで提供されますが、Connection はテキスト/スピーチ オプションも使用可能なユーザについてだけ電子メールを再生します)。
[ファクス数]	Connection がファクス数をアナウンスします。
[開封確認数]	Connection が開封確認の数をアナウンスします。

- ステップ 5** Connection で、すべての開封済みメッセージ（ボイスメッセージ、電子メール、および開封確認）の合計数をアナウンスする場合は、[開封済みメッセージ再生時にアナウンス] セクションの [開封済み総メッセージ数] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 6** [保存] を選択します。

メッセージの宛先と送信先の設定の変更

Cisco Unity Connection では、電話のインプットスタイルが電話のキーパッド ([キーパッドのみ]) に設定されている場合、メッセージの宛先に別のユーザを指定するときは、次のどちらかの操作を行います。

- ユーザ名を入力する。

- ユーザの内線番号を入力する。

電話でメッセージの宛先を指定するときに##を押すことで、名前の入力と番号の入力を切り替えられる場合があります。これは、選択したメッセージの宛先指定設定には依存しません。

手順

- ステップ 1** Messaging Assistant で、[設定] メニューの [電話メニュー] を選択します。
- ステップ 2** 選択した名前を聞いて確認する場合は、[電話メニュー] ページの [メッセージの宛先を指定して送信する間] セクションで [受信者を名前で確認する] チェックボックスをオンにします。
(注) ボイスコマンド ([音声認識] 入力方法) を使用している場合は、確認のため常に受信者名が再生されます。
- ステップ 3** メッセージを複数の受信者に送信または転送するときに、各受信者の後に名前を追加する場合は、[各受信者の後に名前を追加する] チェックボックスをオンにします。
(注) ボイスコマンド ([音声認識] 入力方法) を使用している場合は、常に名前の追加についての確認が行われます。
- ステップ 4** メッセージの宛先指定時に [受信者の入力方法] フィールドで、ユーザ名を入力するか内線番号を入力するかをオプションで選択します。
(注) この設定はボイスコマンド ([音声認識] 入力方法) を使用している場合には適用されません。
- ステップ 5** [電話が切断されたとき、または自分が切断したとき] フィールドで、適切なオプションを選択します。

オプション	説明
[メッセージを送信]	次のような状況で電話が切断された場合、メッセージは送信されます。 <ul style="list-style-type: none"> • メッセージに返信またはメッセージを送信しようとしているとき (メッセージに少なくとも1人の受信者が指定されていて、録音メッセージの長さが1秒より長い場合)。これは、録音が終わっていない、またはメッセージの宛先指定が終わっていない場合でもメッセージが送信されることを意味します。 • メッセージを転送しようとしているとき (メッセージに少なくとも1人の受信者が指定されている場合)。これは、音声コメントの録音が終わっていない、またはメッセージの宛先指定が終わっていない場合でもメッセージが送信されることを意味します。
[メッセージの削除]	# を押してメッセージの送信準備の完了を確定するまで、メッセージは送信されません。メッセージを送信する前に電話が切断された場合、メッセージは送信されずに削除されます。

- ステップ 6** [保存] を選択します。